



昭和 100 年！昭和にまつわるエトセトラ

今年は昭和で換算すると 100 年にあたる年ということなので、昭和にまつわる本をご紹介します。



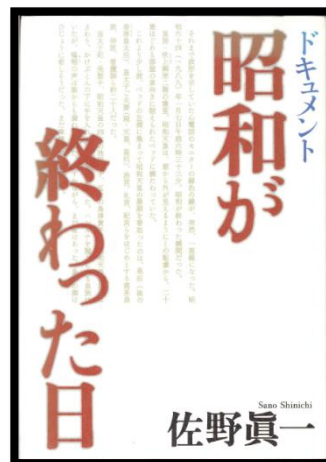
①



②



③



④



⑤

①宿帳が語る昭和100年 温泉で素顔を見せたあの人 山崎まゆみ/著〔潮出出版〕

②時代の流れが図解でわかる！早わかり昭和史 古川隆久/著〔日本実業出版社〕

③玉袋筋太郎の #昭和あるある 玉袋筋太郎/著〔双葉社〕

④ドキュメント 昭和が終わった日 佐野真一/著〔文藝春秋〕

⑤昭和歌謡界隈の歩き方 人生を豊かにする名曲とその味わい 齋藤孝/著〔白秋社〕

昭和64年生まれが読む64(ロクヨン)

64（ロクヨン） 横山秀夫/著〔文藝春秋〕

昭和64年に起きたD県警史上最悪の誘拐殺人事件をめぐり、元刑事の三上は広報官として警察署内外の問題へかわり奮闘する。「D県警シリーズ」の4作目に書かれ、最後まで緊迫感が続く長編警察小説です。

映画化、ドラマ化されており、昭和に関する本としてパツと浮かんだ本でした。三上の望まぬ職務への葛藤や家庭への苦しみに重苦しさを感じますが、話が進むにつれ怒涛の展開で一気に読み終えてしまいます。長編小説に挑戦したい方は、ぜひ手に取ってみてください！

